



# 東京多摩スマイルワイズメンズクラブ

chartered on 2016.7.17 (2023.7.1 東京多摩みなみクラブと東京町田スマイルリングクラブ合併)

2024年  
10月号  
(第16号)

## 今月のことば

「諸行無常」「諸法無我」  
(釈迦のことば：松林蓉子選)

## 2024～2025年度 主題

クラブ会長 伊藤幾夫「みんなが集えるクラブを！」  
 東新部部長 今井武彦(東京むかで)「ALL 東新部、試練を越えて進もう！」  
 東日本区理事 山田公平(宇都宮)「ワイズの方向性を見極める」  
 アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウオン(香港)「大きなインパクトを起こそう」  
 国際会長 A.シャナヴァスカーン(インド)「より良い世界のために、共に」  
 《クラブ役員》会長 伊藤幾夫 副会長 為我井輝忠 直前会長 深尾香子、為我井輝忠  
 書記 田中博之 副書記 尾張日出夫 会計 綿引康司 担当主事 小野 実

(当クラブは多摩市社会福祉協議会、町田市社会福祉協議会ボランティアセンターの登録団体です)

今月の強調テーマ：「ASF」(Alexander Scholarship Fund ワイズ創始者アレキサンダー基金。主に主事の支援)

## 10月例会プログラム

日時：10月2日(水) 19:00～20:30

会場：ベルブ永山 4階学習室  
(小田急線多摩線永山駅徒歩4分)

会費：なし(夕食はありません)

\*オンライン(Zoom)でも参加できます  
受付：為我井輝忠 司会：石田孝次

\*開会あいさつ 伊藤幾夫会長

\*ワイズソング

\*今月のことば 松林蓉子

\*ゲスト/ビジター紹介 会長

\*会長挨拶

\*今月のスピーチ

「CS実践例から知る、ワイズの地域支援活動」

峰 毅さん(東京多摩スマイルクラブ)

\*チーム報告(プランター野菜講座、農園、社協など)

\*YMCA ニュース、各種アピール等

\*スマイル

\*今月のハッピーバースデー

\*YMCAの歌

\*閉会ひとこと 会長

(お願い)11/2(土)町田福祉バザーの品物をご持参ください。

## 巻頭言「日本人」とは？

東京YMCAの日本語学校(にはんご学院)、そして2020年から介護福祉・作業療法の専門学校(医療福祉専門学校)に着任し、ますます日本社会の外国人材の重要性を知ることになりました。一方で、犯罪の増加や地域文化の崩壊など、否定的な意見もあります。人口動態を見る限り、日本で生まれる日本人が確実に減っていくことは事実です。しかし、「日本人」とは一体どういう人のことを指すのでしょうか？日本国籍を持つ？日本語を話す？外見？日本で生まれ育った・・・？先日、ある外国人家族の方とお会いしました。ご夫婦の二人は日本語学校(YMCAではない)で出会い、日本企業に就職したのを機に結婚し、お子さんもお一人生まれ、今は小学生です。実はこのご夫婦、夫はネパール人、妻はベトナム人です。二人の共通言語は日本語ですから、家庭の中でも日本語を話します。お子さんは日本生まれ日本育ち、日本語しか話せません。ただし、国籍は日本ではありませんし、見た目もいわゆるアジアの外国人です。さらにこのご家族、つい先日、千葉に一戸建ての家を購入し、ローンを組んだとも聞きました。「大好きな日本で、子どもを大切に育てたい」と言っていました。外国からも「大好きな日本」と言ってもらえる国、私たち自身も愛する国であり続けるために、考えを巡らす必要があるのではないのでしょうか。(小野実)



## 10月のHappy Birthday

寺沢邦彦さん(2日)、為我井輝忠さん(14日)、  
綿引康司さん(14日)、峰 毅さん(17日)

9月例会	在籍17名 (内広義会員5名) 例会出席 17名	出席 内訳	メンバー 11名	BF切手 0g	オークション 0円
			メーキャップ 1名	(今年度累計 0g)	(今年度累計 0円)
			出席率 100%	ぼんぼこファンド 0円	スマイル 10,525円
			メネット 0名	(今年度累計 2,400円)	(今年度累計 19,105円)
			ゲスト・ビジター 6名		

## 9月例会報告

9月3日（火）、東京多摩スマイルクラブの9月例会が、玉川学園コミュニティーセンターをメイン会場としてハイブリッド開催いたしました。峰さんの司会のデビューでした。



スピーチは、田中による「東日本区チーム・イノベーション答申と私たち」。田中がリーダーとして検討を進め、6月28日に山田東日本区理事に提出した、5年後にこうなりたいという東日本区の将来像とその実現のための施策を紹介し、今後、当クラブの将来計画を策定していくに際しての発題としました。

<当クラブとして、考えていきたいこと>

東日本区として、答申で提案されている施策のプライオリティー付けや具体的なアクションプランの検討が進んでいないようですが、東日本区としての施策と切り離しても、当クラブとして検討を進めることができることが、以下の様に沢山あります。

YMCA との関わりの強化（東京YMCA との対話の定例化、どのYMCA 拠点を支援/協働していくのか、多摩センター地域へのYMCA の設立、町田YMCA のオフィス/スタッフレス解消など）、会員増強施策、IBC/DBC の締結、地域へのPR強化、クラブの法人化、他奉仕団体との連携 等々

スピーチ後、東京YMCA チャリティーラン、YVLF等の報告/アピールが行われ、定刻を少し過ぎて閉会しました。

その後、第8期プランター野菜講座の受講者への種の送付のための作業を全員で行いました。



城田さんが出席した最後の例会でした。（田中記）

<出席者>石田、伊藤（幾）、伊藤（江）、尾張、城田、田中、為我井、深尾、藤田、峰、綿引  
<ビジター>【東京八王子】稲葉恵子、小口多津子、山本英次【石巻広域】清水弘一【甲府】小倉恵一  
<ゲスト>赤染文隆

## 9月第2例会(運営会議)報告

9月9日（月）19:00から、第2例会（運営会議）がZoomにて開催されました。冒頭、城田さんへの黙祷を捧げた後、伊藤会長と田中から、亡くなられた際の様子、その後の甲府21クラブにお世話になった甲府での火葬式（お別れ会）の報告が行われました。9月例会報告、会計報告、10月例会プログラム、5月ブリテン構成の他に、以下のことが報告、話し合われました。

- ぼんぼこ農園：サトイモ、サツマイモが10月後半に収穫できそう。
- プランター野菜講座：クラブメンバー（特に旧東京町田スマイルリング）の参加に期待
- 明日、慈有塾の現状をヒアリングしてくる予定（深尾）
- 11月2日の町田福祉バザーへの献品をお願いする。
- 10月20日の多摩福祉フェスタには、メンバーの多くが参加できないので、今年度はパスする。来年度はぜひ。
- 部大会にはクラブから10名参加予定。尾張さんと田中が写真撮影担当
- 第3例会の冒頭に城田さんを偲ぶひとときを持つ。
- 「お別れ会」については、年内の実施を目途に別途相談する。
- 次期部大会の当クラブからの実行委員を峰さんをお願いした。
- 東日本区サポートファンドにクラブとしては対応しない。
- 11月例会は、東京YMCAの幹部に東京YMCAの現状、将来構想を聴きたいというアイデアが出た。  
<出席者>石田、伊藤（幾）、尾張、田中、為我井、深尾、綿引 合計7名  
（田中記）

## 9月第3例会報告

9/24(火)19:00~20:45、ベルブ永山講座室で第3例会を開催しました。「クラブの将来像～私たちが行うこと～」について、話し合いの場を持ちました。開会の冒頭に、田中さんが作成して下さった故城田教寛さんの写真スライドを観ながら、あり日の城田さんを偲び、黙祷をささげました。

その後、田中さんから、当日の話し合いの要点についての説明があり、続いて話し合いとなりました。話し合いを通して、当クラブの「強み」として、慈有塾などへの具体的な支援活動が明確になってきました。今後さらなる可能性を模索していくことが確認されました。最後に「城田さんを偲ぶ会」の日程についても話し合いました。

《出席者10名》石田、伊藤幾、小野、滝口、田中、為我井、深尾、藤田、峰、綿引  
（伊藤幾記）

## 10月例会 スピーチ

### 「CS 実践例から知る、 ワイズの地域支援活動」

みね たけし  
峰 毅 さん

(東京多摩スマイルクラブ)



#### 《内容》

地域に於いて、高齢者の孤立が進むなか、高齢者自身が課題を共有し、高齢者同士の交流促進を図る為、住民間の繋がりをもとに、サロンをワイズメンズクラブが自立性を持ち、主体的に創出していく実践例をお話しさせていただきます。

#### 《プロフィール》

現在、行政職（高齢者福祉）として勤務。10歳の時に神戸YMCAの余島キャンプに参加した事を契機に、神戸Yユースクラブで地域活動に励み、大学時代は学生YMCAでSCM（Student Christian Movement）に参画。ワイズライフは25年前にスタートし、今に至ります。

## 第3回YYクッキング報告

9月25日（水）11:00～15:00、ベルブ永山調理室で第3回YYクッキングを開催しました。

これは、クラブや部を越えた、緩やかなネットワークの構築を目指した、東新部Y友広場主催のYY企画シリーズの内、男女共同参画イベントです。

この事業は、1、集うこと 2、協働して身体と頭を使うこと 3、食すること、の大切さを共有しながら、経費を除いた余剰金をYMCAや身近な支援団体へ寄付することまでを目標に展開をしています。

今回のメニューは、1. 子牛の煮込みジャガイモ入り 2. マトリーチェ風スパゲッティーでした。



今回は8名の参加でしたが、3部6クラブの活動状況が共有できました。世話人チームによる事前準備の手順も大分慣れて来ましたので、冒頭で触れた目的には、回を重ねる毎に近づいていると思います。当クラブの出席は石田、深尾でした。（深尾記）

## 第8期プランター野菜講座いよいよスタート

9月17日(火)に第8期の講座の第1回目が開催されました。この時期は、リピーターにとって地域でのスケジュールが複数重なり、今回は断念せざるを得なくなった方が数名いました。また、初回の17日は都合がつかず欠席となったのが、沼津の渡邊さん、長野の森本さん、地元八王子の花輪さんの3人です。それでもZoom画面には、13人が登場してくれました。藤田講師からのテーマ野菜の解説の後、前回の講座終了後に育てた野菜の生育写真をアルバム化したものを、一人ひとりの写真毎に藤田講師から個別にアドバイスをいただくことができました。時間もたっぷり用意し、懇切丁寧なQ&Aタイムとなりました。今回のテーマ



野菜は、ミニ白菜で、種から発芽させるケースと、苗を買ってプランターに植え付けるケースに分けた内容でした。残暑が未だ収まらず、野菜にとって過酷な生育環境の中で育てることが求められます。（石田記）

## 第28回東新部部大会近づく!

東新部部大会が10月5日（土）13:30～16:30 東京YMCA 東陽町センターで開催されます。3部構成で、第1部が開会式、第2部では「エンディングノートを書こう」という企画が設けられています。第3部は懇親会です。当クラブからの参加は次の10名です。石田、伊藤幾、伊藤江、小野\*、尾張、田中、為我井、深尾、峰、綿引 +印はオンライン参加（伊藤幾記）

## 城田さん追悼特集

当ブリテンで、城田さん追悼のページを設けましたのでご覧になってください。9/7(土)に急逝されてから、たくさんのワイズメン・メネットから追悼のことば、お悔やみ、お慰みのメールをいただきました。寄せられた文面から、城田さんのワイズへの熱き思い、多くの人から愛されたお人柄、城田さんとのエピソードなどが読み取れます。私たちの知らなかった城田さんのことなどもうかがうことができます。惜しい人を亡くしました。51歳という若さ、これからの期待されたワイズマンでした。安らかにお休みください。「偲ぶ会」を11/4(月、休)午後、東京YMCA 東陽町センターで開催します。（伊藤幾記）

## ぼんぽこ農園便り

猛暑から漸く解放され、ぼんぽこ農園の様子は大きく変わりました。夏野菜が終わり、秋野菜の代表的



銘柄の里芋とサツマイモが立派に育ち、存在感を増しています。来月後半の収穫が待ち遠しいです。里芋の立派に育った茎、大きく開いた葉っぱ。また、サツマイモは、つるが縦横に伸び、絡み合いながら密集状態を作っています。地下には、真っ赤に育った、はち切れんばかりのビッグサイズのサツマイモが眠っています。11月2日(土)の町田の福祉バザーに自信を持って提供できる逸品になりそうです。(石田記)

## 町田福祉バザーに出店します

11月2日(土)10:00~15:00、「ぼんぽ町田広場」で町田ボランティア連絡協議会(当クラブも加盟)主催の「秋季福祉バザー」に当クラブも出店します。ぼんぽこ農園で収穫したサツマイモ、里芋の販売を行います。当クラブの野菜は人気があり、毎回すぐに完売となります。野菜の他に、みなさんから(東京八王子クラブの小口さん、稲葉さんからも)提供していただいた品物も販売します。ご協力をよろしくお願いします。(伊藤幾記)

## 今後の予定

10/1(火)19:00~20:30 プランター野菜講座 Zoom  
10/2(水) 19:00~20:30 10月例会 ベルブ永山  
(10月例会は日にちを変更しましたのでご注意ください)  
10/5(土) 13:30~16:30 東新部部大会  
10/7(月)19:00~20:30 第2例会 Zoom  
10/15(火) 19:00~20:30 プランター野菜講座 Zoom  
10/26(土) 東京八王子クラブ 30周年記念会  
10/29(火) 19:00~20:30 プランター野菜講座 Zoom  
11/2(土)10:00~15:00 町田福祉バザー ぼんぽ町田  
11/4(月、休) 城田さんを偲ぶ会  
11/5(火)19:00~20:30 11月例会 玉川学園  
11/11(月)19:00~20:30 11月第2例会 Zoom  
11/12(火)19:00~20:30 プランター野菜講座 Zoom

**編集後記** 10月に入りました。ようやく秋を感じられるこの頃です。一方で、豪雨などの災害が見られます。とくに能登地域では、元旦の地震に続いて、同じ地域で豪雨災害に見舞われました。被災された方々にお見舞い申し上げます。「大地震」への備えは、しっかりしておきたいと思えます。(i.i)

## YMCA ニュース

担当主事 小野 実

YMCA 運動へのご理解、ご協力に感謝いたします。

1. 9月2日、「関東大震災第101周年記念追悼合同早天祈祷会」を、在日本韓国 YMCA と共催で、在日本大韓基督教会東京教会で開催し、46名が出席しました。
2. 9月8日~11日、「日韓 YMCA 連絡委員会」が韓国のソウルで開催され、東京 YMCA 松本数実氏(国際・教育事業部統括)と渕上舞子氏(にほんご学院校長)を含め、全国 YMCA から15名が参加しました。
3. 9月21日~22日の石川県能登地方の記録的豪雨により、東京 YMCA が1月の震災後避難所運営支援を行ってきた輪島市町野町も大きな被害を受けています。今後全国の YMCA が協力し、視察を含め、支援活動、募金活動について検討していきます。
4. 9月28日、「第38回東京 YMCA インターナショナル・チャリティーラン2024」が都立木場公園で開催されました。企業・団体・東京 YMCA 各部署など41チームがエントリーし、益金は、東京 YMCA 及び全国 YMCA で実施される障がいのある子どもたちを支えるプログラムのために用いられます。
5. 今後の主な行事予定
  - ・「東京 YMCA 高等学院 10周年+1 記念コンサート」10月4日 (日本基督教団霊南坂教会)
  - ・「J.T.スウィフト主事&ミラー主事墓前礼拝」(横浜 YMCA 共催) 10月26日 (横浜外国人墓地)
  - ・「国際協力一斉街頭募金」 11月2日 (新宿駅周辺)
  - ・「YMCA・YWCA 合同祈祷週礼拝」 11月14日 (東京 YWCA カフマンホール) メッセージ: 堀 光雄牧師 (東京 YMCA、在日本韓国 YMCA と共催)
  - ・「第23回日本 YMCA 大会」 11月15日~17日 (YMCA 東山荘) 大会テーマ 「Link!~[私]、YMCA、世界、そして未来~」
  - ・「第26回愛恵エッセイ」 11月15日まで作品募集 (愛恵福祉支援財団との共催) テーマ: 豊かな福祉社会を創るために一戦後80年になるんだって!?
  - ・「賛助会年会・アドバイザー会」 11月26日 (学士会館)
6. 深 悼 謹んで哀悼の意を表します。毛利俊雄氏 (元東京 YMCA 副総主事) 9月7日召天 享年 91

# 城田さんを偲んで



東京多摩スマイルワイズメンズクラブ会員の城田教寛（たかひろ）さんは、9/7(土)動脈解離で急逝されました。享年 51。彼が実行委員長を務め、東京 YMCA 山中湖センターで開催されていたユースボランティア・リーダーズフォーラム（YVLF）の 2 日目の昼食後に発症されました。

急に腹部あたりの痛みを訴え、床に崩れ落ちるように横たわれたので、すぐに救急車を呼びました。車中、容態が変化し、救急隊員は、地元の病院では手に負えないと判断し、ドクターヘリが手配されました。山梨大学医学部付属病院に搬送され、緊急手当が施されましたが、医師の懸命な努力の甲斐なく、15 時に死亡が確認されました。

病院には甲府 21 クラブのメンバーの皆さんに駆けつけていただき、翌日西宮から到着されたご両親への対応や翌々日の火葬式の手配などをいただきました。火葬式では、関東からを含め、多くのワイズが参列し、お別れすることができました。甲府 21 クラブの皆さんには、大変お世話になりました。改めて厚く御礼を申し上げます。

あまりに突然の逝去でした。ワイズの仲間からは、お悔やみの言葉やメッセージが多く寄せられました。その一部をご紹介します。皆さんから愛されていた城田さんを偲びたいと思います。

## 他クラブの皆さんからのメッセージ

（五十音順、敬称略）

### 相磯優子：沼津クラブ

「お疲れさまでした。気をつけて、京都にいつてらっしゃい！」笑顔でそう言って、ユースボランティア・リーダーズフォーラム 1 日目の基調講演後に帰宅する私に声をかけてくださいました。まさか、お別れの挨拶になってしまうとは。城田さんとはユース事業委員会の Zoom の会合でお会いすることが多く、進行や意見交換等で、曖昧な表現ではなく、はっきりと伝えることが必要と考え、時にはストレート過ぎる私の発言を穏やかに聞いて下さっていました。お別れのときのお顔そのままに。どうか安らかにやすみください。

### 石田由美子：宝塚クラブ

「僕の実家に一番近いクラブは宝塚クラブです」・・・の特別な親近感が私たちの距離をグッと引き寄せてくれました。8 月 12 日、急なお誘いにもかかわらず 5 人のメンバーと共に 2 時間のランチの間、城田さんは実行委員長を任された YVLF への想いを熱く話されました。フェイスブックにも毎日この活動をアップして、私にも耳馴染みな話題でした。そして、宝塚クラブは大きなプレゼントを彼から貰いました。今年で 20 回目を迎えるクラブ最大の活動、市民クリ

スマスにトランペット奏者お二人を紹介をして下さり、喜んでいい中での訃報に言葉がありません。心から感謝とご冥福をお祈りします。

### 衣笠輝夫：埼玉クラブ

ワイズメンズクラブのユース事業委員会で城田教寛さんと約 3 年間、ユース事業である IYC、AYC、オープンフォーラム Y、ユースボランティア・リーダーズフォーラム等と一緒に考え、企画し、活動をしてきました。ユースの育成に情熱を燃やし、限られた時間のなかで精一杯努力されている姿がとても印象に残ります。その姿を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

### 小口多津子：東京八王子クラブ

ワイズのユース事業で 3 年ほどご一緒でした。コロナ以後は、ずっとリモートの会議で、委員会での城田さんを思い出す姿は、スマホ片手に仕事帰りの駅のホームやコンコースの一角で歩きながら発言している姿。主任として必ず前回の復習から始めて、今日の議題を進めるという丁寧な仕事ぶりでした。9 月の山中湖センターでの最後の場面は、私には忘れられません。カヌー教室、始めは乗るのを迷っておられましたが、人数が足りなくて出発できなかったところ

を、意を決して乗船され、両手で力一杯、富士山に向かってパドルを漕いでおられました。

### 小松仲史：厚木クラブ

城田君のご冥福を心よりお祈りいたします。同じオーケストラで彼はバストロンボーン、自分はトランペットと一緒に演奏した仲間でした。彼の言動が誤解されることがあり、自分に自信を持ってない負い目を感じている事に気が付き、新クラブが町田にできるのを機会に、とても素晴らしい方々の集まりで自分らしさを発揮できる東京町田スマイリングワイズメンズクラブの創設メンバーに誘いました。思い出は数々ありますが、最後に会ったのは8月21日の大和での新クラブ設立準備会でした。これからもっと話し合う機会が多くなると思っていた矢先の出来事に言葉が出ませんでした。

### 諏訪治邦：東京町田コスモスクラブ

大月駅で、昨日亡くなった城田さんを思い出す電車が丁度到着しました。その電車は東京発の通勤快速河口湖行。終点までは3時間以上かかります。以前フェイスブックで東京駅で乗り込んだ瞬間に投稿したら、城田さんから瞬時に、必ず後ろ6両に乗らないと寝過ぎしの痛手が大きい等のご進言をいただいたことがあります。実は翌日、同じ日に私は吉祥寺まで、彼は大磯まで見事に乗り過ぎてしまい、お互いに大笑いしたことを思い出しました。来年度の区大会では宇都宮のライトレールと一緒に乗ろうと約束をしましたが、夢になってしまいました。城田さんは大磯まで乗り過ごすことも無くなって、私も寝過ぎた報告を聞いてくれる相手も減ってしまいました。どうぞ安らかに！！

### 長澤 弘：東京クラブ

一番若い仲間でした。一番活発な仲間でした。食事後

の腹部激痛とはもしかしたら私と同じ腸閉塞だったのかとも想像してしまいました。ショックです。悲しいです。寂しいです。何とも言えない気持ちです。心から御冥福をお祈りします。

### 並木 真：東京八王子クラブ

城田君、君とはこれから始まるころでした。今までは会ってもあいさつ程度でしたが、君がユースの次々期の事業主任を僕に打診した時から始まりました。君は、いつもまっすぐでした。とても求道的に見えました。もっとゆっくりお互いのことを話があったです。これから、僕の心の中の君との対話が始まるのだと思います。

### 三田庸平：もりおかクラブ

昨年は東日本区ユース事業主任として、今年度はYVLFの実行委員長として尽力されていて、お願いのためにYMCAまで足を運び、熱い思いをもって活動されていたのが、印象に残っています。今年度は頼りない私を東新部ユース事業主査として支えて頂き、すごく頼りにしていました。心より感謝申し上げます。謹んで追悼の意を表します。

### 渡邊大輔：東京武蔵野多摩クラブ

城田さんとは2022年4月に、仕事で平塚に出張で行った際に、「Facebookで平塚にいます」と投稿したところ、城田さんから連絡をいただき、隠れ家的なバーへ飲み誘っていただきました、お互いのワイズへ入ったきっかけや、ワイズの今後、仕事の話など、日が変わるくらいの時間まで話していました。2023年6月にも出張で平塚へ行ったときも、遅くまでいろいろな話しをしたのを覚えています。今年はお出張が流れてしまったので、来年また飲みましようとしていたのに、非常に残念でなりません。

---

## 東京多摩スマイルクラブメンバーからのメッセージ

石田孝次：城田さんと親しくなる切っ掛けは、クラシック音楽CDのコレクションの話とアーティスト談義からです。マニアックな所がお互い惹かれたのでしよう。とにかく憎めない人です。ひょうきんと言うか、それでいて話に真剣に向き合い、ことある毎に協力してくれました。しかし、時にピンボケがあり、ボケ三昧な所がみんなに愛され、いつも周りに笑いが絶えない人でもあり、突っ込みのターゲットでした。そんな城田さんと永遠の別れは辛い一言です。唯々ご冥福をお祈りするばかりです。

伊藤幾夫：山中湖センターからの救急車に同乗し、無事を祈ってドクターヘリを見送りました。まさか、それが最期になろうとは信じられませんでした。ご両親や勤務先に連絡するため、スマホのパスワードを知らせるのが、彼の最期の言葉でした。ずっと城田さんに寄り添うことができたことがせめてもの慰めです。

伊藤江理夫：山中湖へ向かう車中、同乗する伊藤会長と、城田さんの話題に花が咲きました。現地に到着し、真っ先に湖畔へ。まだ日差しは強いが、爽やかで澄んだ山中湖の空気の中、城田さんらの漕ぐカヌー

は、ちょうど棧橋に帰ってきたところでした。下船した城田さんに歩み寄った私に、先に声をかけてくれた。「江理夫さん！すみません！忙しいのに」私は返しました。「いやいや！私は来たいから来たんですよ！」。眩しい笑顔の城田さんと、最初で最後に肩を抱き合いました。次に会えたら、また。待っていてください。

**小野 実**：城田さんといえば日本全国飛び回っておられる印象でした。オンラインの会議なども常に移動先から入られていて、お忙しい方だと思っていました。対面でゆっくりとお会いしたのは今年のクリスマス例会だったと思います。その時は、お元気そうな姿と、楽器の演奏も聴くことができ、多才な方だなあ、と思いました。今回、YVLFの最中の訃報をお聞きし、大変ショックを受けました。太く短い生き様だったと思います。ご遺族の皆様の平安をお祈りいたします。

**尾張日出夫**：城田さんと初めてお会いしたのは2019年2月、旧東京町田スマイリングクラブ発会の時でした。城田さんは工業大学で学び、鉄道の軌道を敷設し、維持管理する企業で働いて居られ、音楽が趣味でした。私は経済を学び金融機関で定年を迎え、登山が趣味でした。城田さんとは5年余をご一緒し、生い立ちや専門の違いがあればこそ人生が楽しいと言うことを実感しました。城田さん有難うございました。

**滝口恵子**：突然の逝去のお知らせに、何とコメントしているのか分からず只々驚いていました。仕事や両親の介護で多忙な日々のため、ワイズをお休みさせていただいている間にお仲間になり、まだ良くお話しすることも、お人柄を知ることなくお別れになってしまったことがとても悲しいです。私は「生涯ボランティア」を目標にしていますが、最期の最後までワイズのためにお働き下さった城田さんを見習ってこれからも日々精進します。

**田中博之**：彼が通っていた大阪北YMCAに私も関わっていたこともあって、世代は少し違いますが、親しみを感じてくれて、様々な相談を受けました。ワイズの中に弟ができたようで、嬉しかったです。もっと話しをしたかったです。彼のワイズでの足あとを残すスライドショーを作成しましたが、彼の積極的な交友の様子そして沢山の笑顔を引き合わせる事ができました。

**為我井輝忠**：旧東京町田スマイリングクラブの創設

メンバーであった城田教寛さんの、あまりにも早い逝去に、ただただ驚愕の思いです。半年ほど前に2人でお会いし、台湾旅行のことを話し合う機会がありました。台湾に行き、新幹線に乗り、駅弁を買い、さらにあちこち鉄道に乗って、台湾を旅行しようと夢を語り合ったばかりでした。彼の「乗り鉄」への思いは常に情熱的でした。

**寺沢邦彦**：たいへん悲しい知らせです。あんなに朗らかにされていたのに、アメリカより城田さんの御霊にお祈りいたします。

**深尾香子**：YYクッキングにも、参加してくれたことがありました。9/25の試食会の折、誰からともなく、食べることが大好きだった彼への懐述が始まりました。皆の記憶にある残された言葉は、どれも前を向いています。背中を押してくれているのです。急遽調理台に残っていた白ワインで、杯を挙げました。「ありがとう。これからも君は、我々の仲間だよ。」

**藤田 智**：城田さんのワイズメンズクラブへの情熱は、傍で見ててかなり熱かったと思っています。その情熱が完成される前に、突然の病魔に倒れ、天に召されました。城田さんの思いを私たちが継いで、もっとこのクラブを盛り上げて行きたいと思います。城田さんもどうぞいつまでも私たちを見ていてください！熱い情熱をもって！

**峰 毅**：城田さんの御召天の報に接し、心から哀悼の意を表します。個の命より組織を上置く、時代錯誤で滅私奉公的な、ワイズソングの歌詞である「この身を捧げ尽くさん」に、以前より違和感がありました。城田さんのYVLF開催中の最期は、まさに「身を捧げた」という事になるのでしょうか。日本では古来より言霊が尊ばれ、発した言葉が何らかの形で、現実に影響を与えるとも言われています。今後、発展的な変革として、時世に合った歌詞修正も一考かもしれません。

**綿引康司**：クラブ合併から1年が経ち、本当に親しくなってきた矢先での悲報でした。ご逝去の4日前に開催したクラブ例会後、皆さんと「ちょっと一杯」の席で私の向いが城田さんでした。仕事を終えて駆けつけてくれたことから、チャーハン1人前を提供したところ、当然完食。またその折に鉄道の話となり、踏切の設計をしたことを嬉しそうに話していたことが今も思い出されます。天に召されたのがちょっと早く、とても残念です。

## 城田さんメモリアル



2019.2.4 チャーターナイト



2020.10.10 東新部部大会



2023.10.7 東新部部大会



2023.11.5 香港アジア太平洋地域大会



2024.1.13 在京ワイズ新年会 2 次会



2024.6.1 十勝東日本区大会



2024.6.1 十勝東日本区大会晩餐会



2024.8.12 宝塚クラブの皆さんと



2024.9.6 YVLF (最後の写真となりました)

1973年8月21日、大阪府吹田市に生まれる

西宮市立北六甲台小学校、西宮市立山口中学、神奈川県立西湘高校、福井工業大学・工学部 建設土木工学科を卒業

1997年4月 清田軌道工業株式会社大阪本社入社。後に東京支社勤務

2019年2月 東京町田スマイリングクラブにチャーターメンバーとして入会。クラブ会計等を務める。

2021年7月 東新部ユース事業主査に就任。以来、継続して務める。

2023年7月 東京町田スマイリングクラブと東京多摩みなみクラブが合併し、東京多摩スマイルクラブが誕生。以来、クラブ副会計を務める。

2023年7月 2023-24年度東日本区ユース事業主任、第36回ユースボランティア・リーダーズフォーラム実行委員長に就任

2024年9月7日、逝去。享年51

西湘フィルハーモニー管弦楽団メンバー（トロンボーン）、平塚市倫理法人会会員